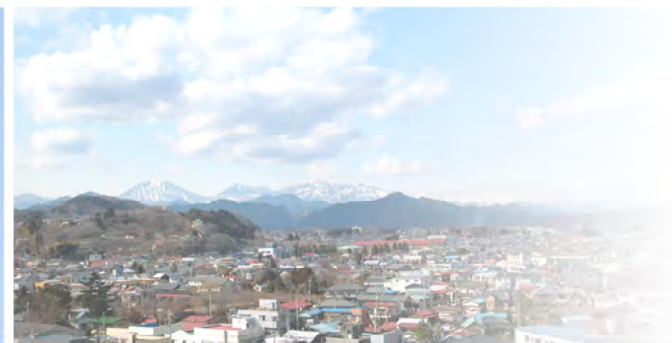


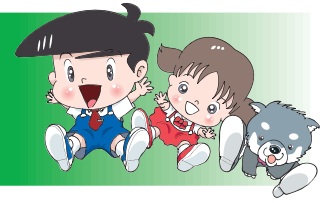
平成25年度 地域密着型金融の具体的取組み

平成26年7月

鹿沼相互信用金庫



1. 求められる役割と具体的施策

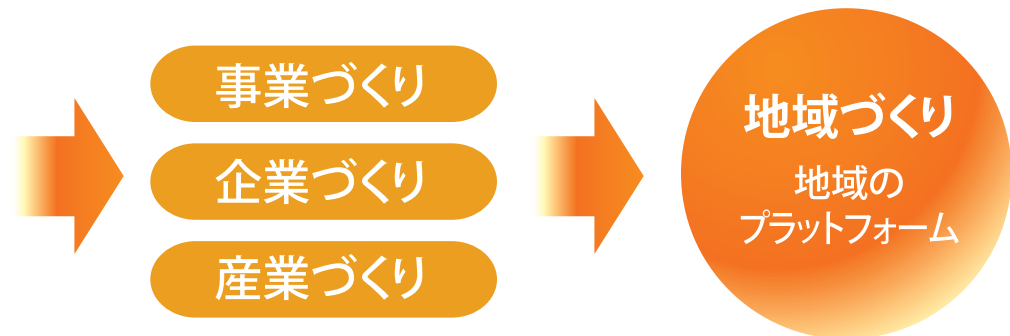


(1) 地域密着型金融推進の3つのテーマ

- ① 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的再生への積極的な参画
- ③ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

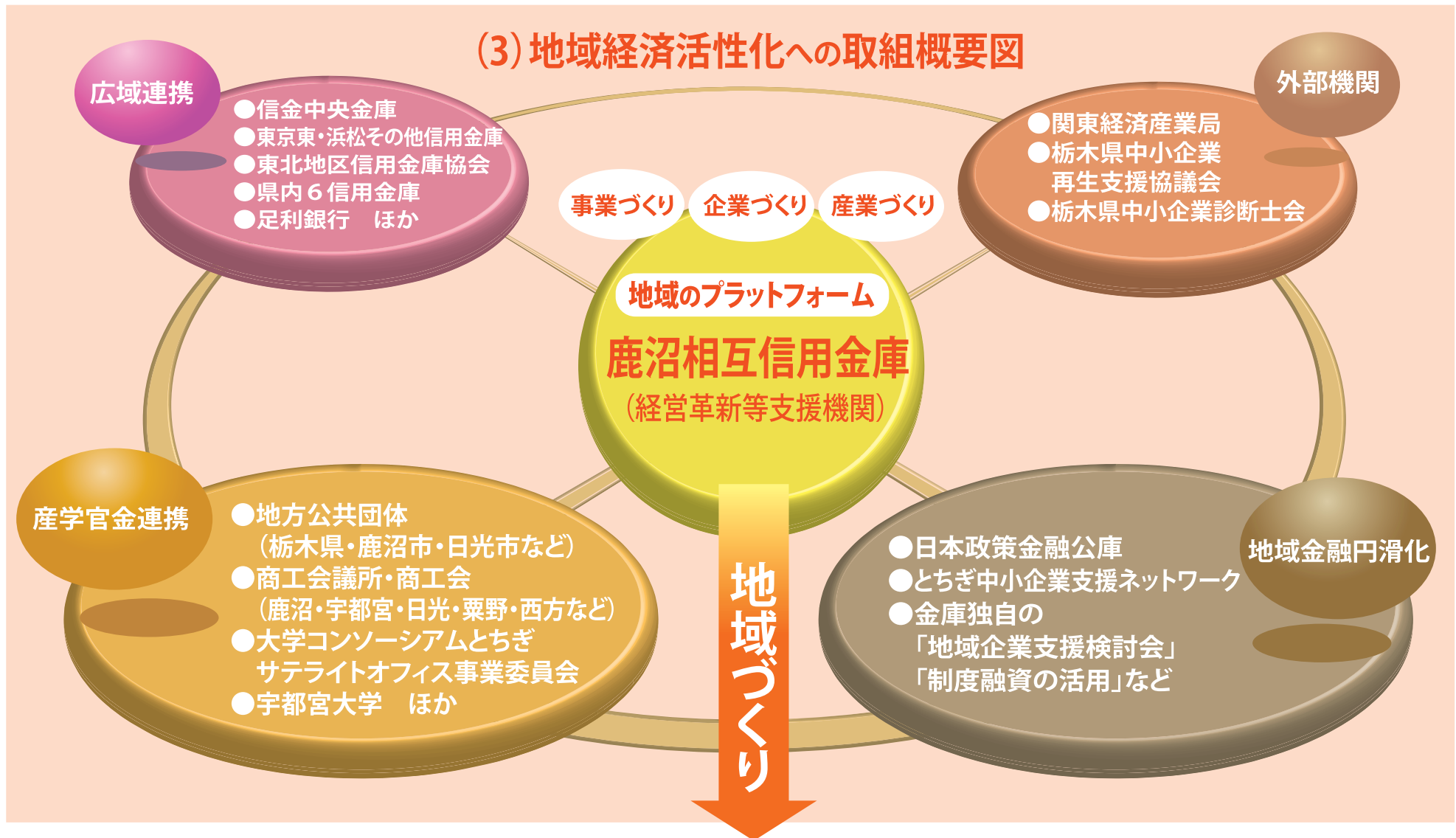
(2) 地域のプラットフォームを目指した4つの具体的施策

- ① 広域連携
- ② 産学官金の連携
- ③ 外部機関の活用
- ④ 地域金融の円滑化

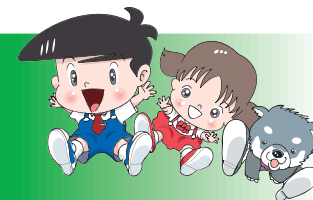


1.求められる役割と具体的施策

■事業づくり、企業づくり、産業づくりをとおして地域づくりを担うプラットフォームを目指す。



コンサルティング機能の発揮・地域の面的再生・情報発信



2. 具体的な取組み事例 (1) 広域連携

(1) 信用金庫や地域金融機関ネットワークの活用による販路拡大

① 信金中央金庫による支援策の活用

観光誘客のためのPDF「悠久の地・日光への誘い」の発信(平成25年6月) … 中小企業支援部ネットワーク推進室

海外への工場進出・販路拡大(タイ・ベトナム・アメリカ等) … 海外業務支援部

② 信用金庫ネットワークを活かした観光誘客の推進

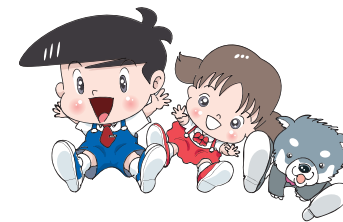
日光市、(一社)日光市観光協会との連携による観光誘客(含予定)



年度	誘客信用金庫・団体	誘客合計人数
平成24年度	6信用金庫・1団体	計1,431名
平成25年度	4信用金庫	計2,873名
平成26年度	11信用金庫	計約1,900名
平成27年度	3信用金庫	計約2,130名

観光連携ファムツアーの実施(平成26年2月11日・12日)

全国21信用金庫1信用金庫協会 計29名参加



③ 栃木県内金融機関の連携によるビジネスフェア等の開催

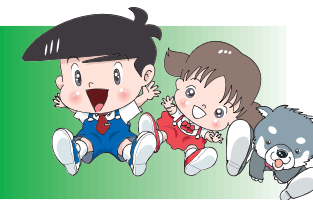
平成25年 9月	「栃木県海外展開セミナー」への後援	主催：日本政策金融公庫宇都宮・佐野支店 後援：鹿沼相互信用金庫	—
平成25年 11月	「ものづくり企業」展示・商談会への共催	主催：足利銀行 共催：県内信金・信組	取引先顧客 18社参加
平成26年 1月	「とちぎ食と農」の展示・商談会への後援	主催：栃木県・足利銀行 後援：県内信金・信組	取引先顧客6社・ パイヤー2社参加

④ 信用金庫の連携によるビジネスフェアへの参加

平成25年 7月23・24日	浜松信用金庫「はましんビジネスフェア」	取引先顧客 3社参加
平成25年 11月7日	東北信用金庫協会「東北ビジネスマッチ」	取引先顧客 3社参加
平成25年 11月20日	東京東信用金庫「ひがしんビジネスフェア」	取引先顧客 6ブース8社参加



2. 具体的な取組み事例 (2) 産学官金連携



(1) 公共団体・商工会団体・大学などを活用した地域活性化

① とちぎ観光リーダー育成塾への参加

主催	栃木県
事業期間	平成23年度～平成27年度(5年間)
事業趣旨	平成20年度の観光庁の発足に伴い、「新とちぎ元気プラン」が策定された。新とちぎ観光プラン「観光でまちを元気に!」がスタートし、「とちぎ観光リーダー塾」へ信金業界として参画することとなった。
人員派遣	1名(平成23年度) 鹿沼相互信用金庫 1名(平成24年度) 栃木信用金庫 1名(平成25年度) 足利小山信用金庫

② 鹿沼市経済部観光交流課との連携

主催	鹿沼市
事業期間	平成25年9月2日～9月8日
事業趣旨	東京スカイツリーにおける「鹿沼秋祭り」への観光誘客
参加人員	延べ43名 リーフレット配布8,000枚
協力	東武トラベル(株)

主催	鹿沼市
事業期間	平成26年2月26日
事業趣旨	「鹿沼のチカラ展inTOKYO」協力
参加人員	10名
協力	東京東信用金庫

日光市産業環境部・観光部との連携

平成25年7月	「はままつビジネスフェア2013」での企業誘致、観光PR
平成25年11月	「東北ビジネスフェア2013」での企業誘致、観光PR

③ 国のすすめる「地域プラットフォーム」事業への参画

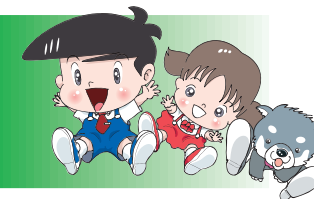
- 「かめま広域支援ネットワーク」(鹿沼商工会議所代表機関)
- 「とちぎ未来創造カンパニー」(宇都宮商工会議所代表機関)

④ 「学生&企業研究会」への協賛後援

主催	大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィス
開催日	平成25年12月7日
協力内容	協賛、後援 当金庫理事長賞



2. 具体的な取組み事例 (2) 産学官金連携



⑤ 産学官金連携サテライトオフィス事業委員会の活用

新製品の効果検証		新技術・新工法の効果検証	
医療用具製造業者	A社	木工業者	C社
検証内容	ポリエステル製綿球の、製造工程で発生する物質の吸収を防ぐ研究。透析患者向け綿球市場への新商品提案が可能に。	検証内容	新機械導入による商品・製法等の技術開発
紹介先	宇都宮大学・自治医科大学	紹介先	サテライトオフィス⇒小山高専
新技術・新工法の効果検証		建設工法の効果検証	
建設業者	B社	建設業者	D社
検証内容	建設現場における手押台車のロボット化の開発	検証内容	構造物への新技術による工法の検証
紹介先	宇都宮大学大学院	紹介先	サテライトオフィス⇒宇大工学部

⑥ コミュニケーションポスター作成

事業内容 各地の地域振興に貢献する「人」にスポットを当てて紹介(平成24年度)企業応援シリーズ(平成25年度～)

掲示期間 平成22年9月～現在

作成実績 「街のいきいきさん」シリーズ 全8部
「匠」シリーズ全4部
「企業応援」シリーズ全2部

⑦ 「第7回かめましんきん経済セミナー」の開催

開催日 平成26年3月18日

参加者 顧客企業先110社 141名

講師 山口義行(立教大学教授)

演題 「これからの日本経済と中小企業経営」

「街のいきいきさん」シリーズ



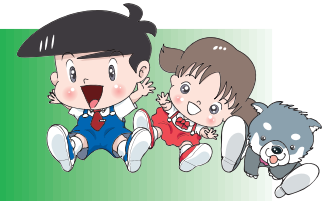
「匠」シリーズ



「企業応援」シリーズ



2. 具体的な取組み事例 (3) 外部機関



(1) 関東経済産業局が進める「金融連携プログラム」(ミラサポ)等の活用

① 関東経済産業局による出前研修の開催

開催日 平成26年2月10日
 内容 金融連携プログラム・産業競争力強化法・中小企業支援策・新エネルギー・省エネルギーについて
 講師 関東経済産業局 2名
 参加者 49名(職員42名・外部7名)

② 中小企業支援ネットワーク事業の活用

ネットワークアドバイザー・専門家派遣(ミラサポ)の活用 平成25年度計32件

内訳 ●農商工連携等 ●経営改善・再生 ●海外展開支援 ●事業継承
 ●節電・省エネ ●経営革新 ●地域資源活用 ●その他

③ 関東経済産業局・栃木県による中小企業支援補助金の活用

■平成24年度 ものづくり補助金			■平成25年度 新ものづくり補助金			■平成24年度 創業補助金			■平成25年度 創業補助金		
第一次募集	13件申請	5件採択	第一次募集	12件13社申請	9件10社採択	当金庫受付分	8件申請	4件採択	当金庫受付分	—	—
第二次募集	8件申請	4件採択	第二次募集	11件申請	審査中	提携先受付分	2件申請	1件採択	提携先受付分	1件申請	1件採択
申請取引先	15社	9件採択	申請取引先	24社	9件10社採択	栃木県フードバレーファンド助成金 ■平成24年11月採択			南米の果物「ペピーノ」を活用した農商工連携による加工品の生産販売		

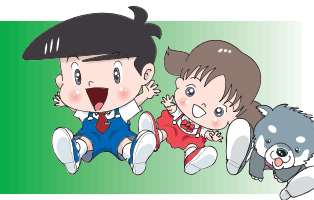
④ 「経営相談会」の開催

●栃木県中小企業診断士会からの派遣(2名)
 取引先顧客企業8社が参加
 開催日 平成26年3月17日・18日

⑤ 企業再生ファンド「とちぎネットワークファンド」の組成活用 平成25年9月27日～

⑥ 「とちまる6次産業化成長応援ファンド」の組成活用 平成25年9月～

2. 具体的な取組み事例 (4) 地域金融の円滑化



① (株)日本政策金融公庫(国民生活・中小企業・農林漁業)との連携と情報交換

協調融資による資金繰りの支援

- 海外展開セミナーの開催(後援)

農業経営アドバイザー資格の取得

- 24年度1名取得
- 25年度2名取得

② 当金庫独自の地域企業支援検討会の開催による資金繰りの支援

平成24年度.....実績 4,508百万円

平成25年度.....実績 5,223百万円

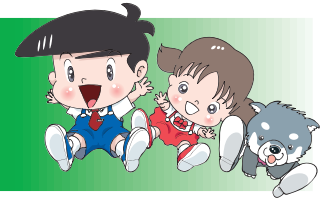
③ 当金庫独自の融資制度の活用

- 創業・開業資金「創世起」 14件 50百万円
- 地域支援資金「力」 58件 122百万円
- 農業者向け資金「大空」 19件 44百万円
- 太陽光発電事業支援資金 3件 26百万円
など

④ 専門的な人材の育成や活用

- | | |
|----------------|--------------------|
| 《国家資格取得者》 | 《栃木県中小企業再生支援協議会出向》 |
| ● 社会保険労務士 1名 | ● 職員 1名 |
| ● 宅地建物取引主任者 8名 | |
| ● AFP 5名 | |
| ● FP技能士1級 1名 | |
| ● FP技能士2級 10名 | |

3. 信用金庫役職員に求められること



(1) 地域社会の持続的な発展に貢献する **中長期的な取組み**

(2) 貢献するために必要な収益と取引基盤を確保する

短期的な取組み

(3) 全役職員がいきいきとその力を発揮できる金庫を創る

組織を活用する



地域経済の活性化

収益の確保